

日進市長 萩野 幸三 様

日進市における「道の駅」整備の推進について

にっしん観光まちづくり協会は、平成30年3月28日に設立し、日本版DMO形成に向けて、日進市内の多様な地域資源を磨き上げ、また新たに共創し、市民の観光ホスピタリティの涵養によって、日進市ならではの魅力として発信提供することで、誘客促進や経済効果につなげ、地域の発展、ひいてはシビックプライド（市民の愛着と誇り）と地域ブランド（地域の魅力向上）の醸成に寄与することを目的としています。

当協会が目指す観光まちづくりは、一人ひとりの市民はもとより、NPOやボランティア等の市民活動団体、地域、地元企業、大学など多様な人々の参加と参画、協働が不可欠です。

そのような中、日進市が整備を進めている「道の駅」は、その整備コンセプトが示すように、多くの市民活動が展開されることが期待されており、さらなる市民間の交流や機能連携が図られることで、都市活力やにぎわいが創出され、持続的なまちの発展につながっていくことが期待されています。また、平成30年2月に策定された「日進市道の駅基本計画」においては、DMO活動拠点（事務所）の設置について位置づけていただきました。

多くの市民が集う「道の駅」は、従来の公共インフラ施設では生み出せない、地域資源を生かした価値創造の可能性があります。当協会の目的の実現と地域のますますの発展のため、日進市における「道の駅」の早期整備を要望します。

平成30年4月27日

にっしん観光まちづくり協会 会長 中條 元男 印

